

オプション検査一覧表

特定健診や後期高齢者健診を受診の際に一緒に受けられる検査の一覧です。検査によっては、当日のお申し出でも受付が可能ですが、できるだけご予約の際にお申し付けください。

検査項目	説明	費用
①動脈硬化検査 (血圧脈波検査)	血管の硬さや詰まり具合を調べる非侵襲的な検査方法です。両腕と両足首に血圧計のカフを巻き、それぞれの部位での血圧と脈波を測定することで、動脈硬化の程度や末梢動脈疾患のリスクを評価します。	1,100円
②ヘモグロビンA1c (血液検査)	一般的な血糖値は食事や運動、ストレスなど様々な要因で日々大きく変動します。一方でHbA1cは長期間の平均値のため、検査当日の食事や運動の影響を受けにくく、空腹時・食後を問わずいつでも測定できるというメリットがあります。そのため、血糖値が一時的に高くてもHbA1cが正常であれば最近の血糖コントロールは良好、逆にHbA1cが高い場合は「慢性的に血糖が高め」であることを示す重要なサインとなります。	540円
③ピロリ菌 (血液検査)	ピロリ菌とは正式名称を“ヘリコバクター・ピロリ”といい、胃炎や胃・十二指腸潰瘍の原因になる細菌のことです。ピロリ菌に感染すると、体内でピロリ菌に対する抗体がつくられます。抗体は血液中などに存在するため、血液中の抗体を測定することで、ピロリ菌の感染の有無を調べるスクリーニング検査です。	2,460円
④便潜血 (2日分採便)	便潜血検査とは、便に付着した血液を採取し、内臓の健康状態を調べる検査方法です。ご自宅で採取した検体を提出していただきます。便潜血検査を行うことで、がんによる死亡率は下がるという統計が出ています。	1,100円
⑤MCIスクリーニング検査 (軽度認知障害) (血液検査)	現在、アルツハイマー型認知症の発症は「血管の老化」や「神経毒性物質であるアミロイドβの蓄積」が原因とされています。MCIスクリーニング検査プラスではその血管の老化やアミロイドβの蓄積に関与するタンパク質の血中量を測ることで、あなたが将来MCIになりやすいか（または既にMCIの可能性があるかどうか）がわかります。 「MCI = 軽度認知障害」は、認知症を発症する一歩手前の状態を指しています。最近の研究ではこの「MCI = 軽度認知障害」の段階で気づき適切な予防をすることで、その後の進行を抑える可能性があるとなってきました。	20,000円

検査項目	説明	費用
⑥微量アルブミン検査 (尿検査)	腎臓のSOSの役割を担う尿検査で、特に糖尿病腎症の早期発見につながるとされています。アルブミンはタンパク質の一種で、腎臓の糸球体という箇所が痛むと早期から尿へ漏れ出てきて、アルブミン尿として検出されます。糖尿病の確定診断がされている方は、保険適用での検査になりますが、そうでない方は、保険が適用されません。高血圧、喫煙、肥満は腎臓に負担をかけますので、早期にアルブミン尿の検出に気づくために健診の機会での検査をご検討ください。	1,210円
⑦ナトリウム/カリウム比検査 (尿検査)	ナトカリ比とは、ナトリウム(Na)とカリウム(K)という2つの栄養素のバランスを示す指標で、最近では血圧の管理や心臓病の予防にとっても重要な役割を果たすことがわかってきています。食べた食事のナトリウム(塩分)が多く、カリウムが少ないと、この比率は高くなります。ご自身の食生活を見直すきっかけとなる検査です。	290円
⑧体成分分析装置検査 (Inbody)	筋肉量や体脂肪量等の体重を構成する成分をそれぞれ分けて算出する検査です。健康状態をより詳細に把握するためには、BMIだけでなく体重に対する体脂肪量の割合、つまり体脂肪率を確認する必要があります。手足に電極をつけ、微弱な電気を流し測定します。 *心臓ペースメーカーのような植込み型医療機器を装着されている方は測定できません。	700円
⑨骨塩量定量検査 (MD法)	骨の中のミネラル含有量を測定し、骨の強度を評価する検査です。この検査は、骨粗鬆症の早期発見や骨折リスクの評価に使用され、骨の健康状態を数値化して把握するために役立ちます。特に、加齢に伴い骨密度が低下しやすい閉経後の女性や高齢者にとって、骨塩定量検査は非常に重要です。検査は、痛みを伴わず、数分程度で簡単に行えます。体の一部を機械に置くだけで済み、検査はリラックスして受けていただけます。	1,540円
⑩呼吸機能検査 (スパイロメトリー)	肺の容量や空気の出し入れの速さを測定し、肺や気道の健康状態を調べる検査です。 息を吸ったり吐いたりするだけで、痛みはなく、数分で終わります。	3,630円
⑪喀痰細胞診 (パピニコロウ染色)	喀痰細胞診とは、咳をした際に出る喀痰(かたん)の中に含まれる細胞を検査する方法です。3日間の痰をためて検査します。(畜痰法) 主に肺がんやその他の呼吸器疾患の診断に利用され、肺の健康状態を把握する重要な手段とされています。喉や気管支で発生する問題の早期発見に繋がります。	2,200円

*さめき市で実施している検査も同時に受けられます。(いずれも血液検査)

1. 前立腺がん検診(自己負担額700円):対象者:40歳以上の男性。

2. 肝炎ウイルス検診(無料):対象者:40, 45, 50, 55, 60, 65歳になる方で未受診の方。